

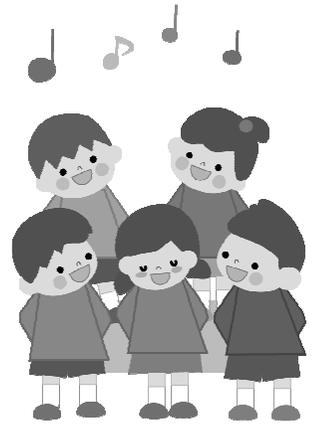


2 回目の合唱コンクール

2 年 1 組	「夢のかなう場所へ」	銅賞
2 年 2 組	「時の旅人」	銀賞
2 年 3 組	「翔る川よ」	金賞
2 年 4 組	「遙かな人へ」	銅賞
2 年 5 組	「HEIWAの鐘」	銀賞
2 年 6 組	「予感」	銀賞

先月の 31 日（金）に上野学園ホールで合唱コンクールを行いました。体育祭から 3 週間という短い取り組み期間でしたが、どのクラスもすがすがしい歌声を披露しました。1 年生のときより心も体も成長し、ひと回り大きくなった姿を見せてくれたと思います。

さて、結果は上記の通りとなりましたが、この結果は 10 月 31 日の歌に対する評価です。しかし、合唱コンクールは 10 月 31 日だけではなかったはず。「あなたのクラスの取り組み」「あなた自身の取り組み」に対しての評価は「何賞」でしょうか？そこを振り返らなければ合唱コンクールに参加した意味が半減します。稲田先生が作成した前号の学年通信を覚えていますか？「中学校で合唱コンクールを行う意味」を・・・。



日本全国のほとんどの中学校が、合唱コンクールをおこなっています。なぜでしょうか？それは、皆さんに「自分が大人になったときの自分の姿」を見てほしいからです。人は中学時代に、自分が気乗りしなくても、たとえ嫌でも、一つのことに向かって、皆と協力する気持ちを育てなければなりません。なぜなら、実社会では人と協力しなければ生きてはいけないからです。（中略）

今回、先生方がくださった「合唱コンクールに取り組む」という課題に、あなたは最初から最後までどういう気持ちで臨むのでしょうか？自己分析して、もし前向きに取り組んでいないならば、将来は危ないこととなります。今、「やるぞ・・・」という気持ちが沸かなければ、いつになってもダメだと思います。厳しい話ですが、これが現実です。合唱コンクールの取り組みを「人生のパロメーター」にしてください。大人も生徒も、課題は何であれ、真剣に考え協力する人がいれば、おちゃらけたり、理由をつけて逃げる人がいます。さて、あなたはどちらのタイプですか？「自分を見つめ直す機会にする」これが全国の中学校で合唱コンクールをおこなう理由なのです。

あなたは合唱コンを「自分を見つめ直す機会にする」ことができたでしょうか？「合